

IPの創出・育成



IPを主軸に置いたビジネスモデルの起点となるキャラクターやストーリーの創出では、コミックスを軸に取り組んでいます。また、創出したIPのクロスメディア展開に向けては、映像化を中核とした取り組みに重点を置いています。



月刊ヒーローズ／ヒーローズコミックス

ヒーローを基軸としたキャラクターやストーリーで構成した「月刊ヒーローズ」を2011年11月に創刊しました。これまで累計42作品を掲載するほか、24作品の単行本「ヒーローズコミックス」を刊行しました。

現在、創出した複数のIPについて、映像化の企画が進行しています。



『マジェスティックプリンス』

(株)創通や東宝(株)などの有力企業と連携して、クロスメディアの展開を念頭に企画し、「月刊ヒーローズ」の連載とテレビアニメで、同時期に異なるストーリーを展開しました。2014年2月にはソーシャルゲームをリリースし、現在、その他メディアへの展開も企画を推進しています。



『ULTRAMAN』

従来の『ウルトラマン』の世界観を踏襲しつつ、等身大のヒーローとして、初代『ウルトラマン』のハヤタ隊員の息子を描いた作品です。現在、単行本を第4巻まで発行し、累計発行部数が100万部を超えるなど、順調にファンの拡大を図っています。



『セーラーゾンビ』

フィールズ原案の『セーラーゾンビ』を、パートナー企業とともに、クロスメディア展開しています。2014年4月より、「月刊ヒーローズ」、テレビドラマ、アーケードゲームへのクロスメディア展開を推進しています。



『ソウルリヴァイヴァー』

「月刊ヒーローズ」連載作品『ソウルリヴァイヴァー』のハリウッド実写映画化に向けた脚本開発を進めています。

映画『ラストサムライ』や『恋におちたシェイクスピア』などを手掛けたハリウッド映画製作会社The Bedford Falls Company、日本のコンテンツのハリウッド展開を推進する(株)All Nippon Entertainment Worksと3社共同で、2014年7月、実写映画化プロジェクトを始動しました。



保有 IP の育成

ウルトラマン

2010年に(株)円谷プロダクションを子会社化し、日本の至宝とも称される『ウルトラマン』シリーズのさらなる IP 育成と新たなキャラクターの創出に取り組んでいます。



『ULTRAMAN』

従来の『ウルトラマン』シリーズがファミリー層をターゲットとするのに対し、「月刊ヒーローズ」で描く『ULTRAMAN』では主にヤングアダルトをターゲットとしています。

将来的にはグローバルコンテンツとしての展開を視野に入れ、現在、映像化の企画を進めるなど、IPの育成を推進しています。



従来の『ウルトラマン』シリーズのさらなる活性化

『ウルトラマン』シリーズは、1966年のテレビ放送開始から、シリーズ作品を経て、幅広いファン層に支持されるメジャー IP です。シリーズのさらなる活性化を図るべく、2013年7月に新テレビシリーズ『ウルトラマンギンガ』の放送を開始しました。主にファミリー層をターゲットとし、パートナー企業と連携したマーチャンダイジングの展開を行うなど、シリーズIPの活性化を図っています。さらに、2014年7月には『ウルトラマンギンガS』のテレビ放送を開始し、継続的にメジャー IP を活用したクロスメディア展開を推進しています。

また、従来の『ウルトラマン』シリーズIPについても、各種媒体や企業とのコラボレーション、ヒーローショーの実施などにより、ファンとの接点を増やすことで、シリーズを通じてのIPの価値向上に取り組んでいます。

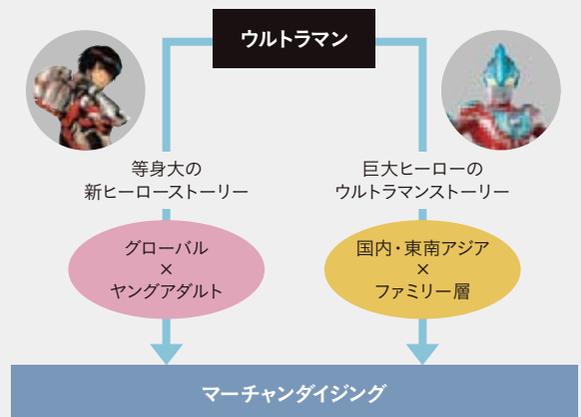


今後の展開

従来の『ウルトラマン』シリーズと「月刊ヒーローズ」から創出した『ULTRAMAN』を両軸に、幅広いファン層を獲得すべく、IPのクロスメディア展開を推進していきます。

また、海外展開においては、東南アジアを中心に、これまでの旧作品の映像販売のみならず、日本国内同様、新たなラインアップを組み込みつつ、クロスメディア展開していく仕組みを構築していきます。

今後も、日本を代表するヒーローキャラクター『ウルトラマン』シリーズのIP価値向上に向け、映像、ライブエンタテインメント、グッズなどのマーチャンダイジングなど、多様なメディアを活用した展開を図っていきます。



パートナー企業とのコンテンツ開発

パートナーシップに基づくIPの育成・事業化として、パートナー企業とともに映像化を中心としたコンテンツ開発に取り組んでいます。そしてさらに、開発したコンテンツを活用したクロスメディア展開を推進していきます。



『ベルセルク 黄金時代篇』



1989年から現在まで連載が続いているダークファンタジー作品のコミックを原作に、映画『ベルセルク 黄金時代篇』3部作としてパートナー企業とともに企画・プロデュースし、2012年から2013年にかけて公開しました。そして、創出した映像コンテンツをもとに、2013年8月にソーシャルゲーム、パチンコ遊技機へ展開を図り、IPの価値向上に取り組んでいます。

今後同IPを活用したマーチャндаイジング分野への展開を推進し、IP育成に取り組んでいきます。

『キルラキル』

(株)アニプレックスや(株)KADOKAWAなど、パートナー企業とともに、オリジナルアニメーションとして映像企画を推進し、2013年10月にテレビアニメとして放送を開始しました。

今後、マーチャндаイジング分野への展開を推進し、さらなるIPのファン拡大に取り組んでいきます。



『アカメが斬る!』



東宝(株)や(株)ソニー・ミュージックエンタテインメントなど、パートナー企業とともに、シリーズ累計部数160万部以上を発行するコミックを原作とし映像化を推進しました。2014年7月より、テレビアニメとして2クール(全24話)の放送を開始しました。

現在は、映像コンテンツをもとに、マーチャндаイジングの企画を推進しています。

『APPLESEED ALPHA』

コミックを原作としたリポート作品として、米国ソニー・ピクチャーズ エンタテインメントと共同で、映像化を推進し、2014年7月に北米にて映画をリリースしました。

今後、国内での映像展開をはじめ、その他メディアへの展開を推進していきます。



『クロスアンジュ 天使と竜の輪舞』

(株)サンライズ、キングレコード(株)など、パートナー企業とともに、オリジナルアニメーションとして映像企画を推進し、2014年10月よりテレビアニメとして放送を予定しています。

今後、創出した映像コンテンツをもとに、クロスメディア展開によるIPの価値向上に取り組んでいきます。

